



2022年5月9日

各位

会社名 JUKI株式会社
代表者名 代表取締役社長COO 内梨 晋介
(コード番号 6440 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートオフィサー 南 大造
財務経理部長
(TEL. 042-357-2211)

業績予想に関するお知らせ

2022年2月9日公表の「2021年12月期決算短信[日本基準](連結)」では、2022年12月期第2四半期累計の業績予想を行っていませんでしたが、今般、第1四半期の連結業績実績および第2四半期の業績見通し等を勘案し、第2四半期累計連結業績予想値を公表することといたしましたのでお知らせします。

記

2022年12月期 第2四半期(累計) 連結業績予想(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回予想 (B)	58,000	1,900	1,800	1,200	41.0
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (2021年12月期 第2四半期累計)	47,098	1,908	1,716	1,221	41.7

(補足説明)

第2四半期は、中国でのロックダウンが続いておりますが、ベトナムでの代替生産や中国工場の操業再開の早期化などによりその影響の最小化に努め、部品調達先の多様化、物流の直送化などサプライチェーンの再構築を加速するとともに、5Gなどに牽引された半導体やロボット等の力強い需要拡大や、新興国市場の拡大などを捉えた売上の着実な取り込みを進めることで売上の増加を図っております。また、部品調達・物流コストの増加に対応した製品の値上げによる価格戦略等利益の向上を図っております。

これにより、第2四半期累計連結業績予想値は対前年比、売上高は109億2百万円増、経常利益は8千4百万円増と予想いたしました。

なお、2022年12月期通期の連結業績予想につきましては、前回予想値からの変更はありません。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上